

医療行動科学 8

| | | |
|-----|-----|-----------------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 4年次 | 後学期 | 伊藤 孝訓 (歯科総合診療学) |

| | |
|----------------------|--|
| 学修目標 (GIO) と単位数 | <p>単位数：2単位</p> <p>良質な医療の提供を目的としたPOS医療，全人的医療の展開に向けて，基本的臨床技能，特にクリティカルな思考やコミュニケーション能力など，情意領域の行動科学的教養を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な患者－歯科医師関係の確立に要する臨床能力の基本的な態度，知識及び技能を身につける。 ・信頼関係を確立するために，コミュニケーションの重要性を理解し，その能力を身につける。 ・個別性重視の歯科医療を展開するにあたり，遭遇する各種出来事の重み付けをクリティカルに判断する能力を身につける。 ・歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し，目的達成のために学生相互連携を身につける。 |
| 担当教員 | 伊藤 孝訓、多田 充裕、内田 貴之、青木 伸一郎、遠藤 弘康、岡本 康裕、大沢 聖子、海老原 智康、村瀬 仁美、梶本 真澄、須永 肇、※石井 広志、※井田 聡子、※市川 喜之、※井出 壺也、※梅田 宜承、※大川 将彦、※多田 浩三、※大山 和次、※金尾 好章、※北本 厚、※佐藤 繁、※鈴木 義孝、※須永 亨、※関 真之、※野崎 勝也、※堀内 一、※神濱 敦 |
| 教科書 | 「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」 伊藤孝訓，寺中敏夫編著 クインテッセンス出版 医療コミュニケーション実習書 日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座編 |
| 参考図書 | 「歯科医療面接アートとサイエンス」 伊藤孝訓編著 砂書房 (第2版) 「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー①患者の診かたと歯科診療」 黒崎紀正他編集 医歯薬出版 「臨床医になるための必修アイテム」 医療面接から臨床判断学まで 竹村洋典 南江堂 「臨床入門 臨床実習の手引き」 福井次矢 医学書院 「口腔診断学」 下里常弘他 医学書院 「POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム」 日野原重明 医学書院 |
| 実習器材 | SGDはノートパソコンを使用するので，班ごとに用意すること。 |
| 評価方法 (EV) | <p>演習：授業時間内に行う平常試験及び毎回行う小テスト (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。</p> <p>平常試験の結果に応じて，補講または再試験等の措置を講じることがある。</p> <p>受講態度は出席することが前提として与えられ，講義・演習参加への積極性を評価対象とする。</p> <p>授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。</p> |
| 学生へのメッセージ オフィスアワー | <p>臨床場面を設定した医療面接のロールプレイ演習やその他の基本的臨床技能は，臨床実習において患者に対応する際に即役立つことなので，真摯な思いと意気込みを持って演習に参加していただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所は，第2実習室を基本とする。 2. 集合時間を厳守すること。遅刻は認めない。 3. 実習にふさわしい態度と身なりで取り組むこと。清潔な白衣を着用し，マニキュア，指輪，ピアス，イヤリングは禁止する。茶髪，髭は認めない。長い髪は束ね，帽子の中に入れて垂れないようにすること。また携帯電話の持ち込み及び使用は禁止する。 4. 実習中は私語に慎み，真摯な気持ちで行うこと。 5. 事前に実習書を熟読し，十分な予習を行った上で実習に望むこと。 6. WedClass 上に解説や課題を提示するので必ず確認を行うこと。 7. 集団を対象としたワークショップ形式の演習であるため，各個人が意欲を持った自立的な態度を望む (成人学習)。 <p>E-mail (shindan.md.ml. @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|---|---|
| 2017/09/26 (火) 1時限 09:00～10:30 | ガイダンス | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために，医療行動科学に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 実習のねらい (学習目標) を説明できる。 2. 「成人学習」について概説できる。 3. TBLについて説明できる。 4. ポートフォリオについて説明できる。 5. 言語的コミュニケーションを説明できる。 6. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 7. 情報を自ら収集，分析し問題点を探求することができる。 8. 問題点を論理的に整理し，解決方法を自ら見いだすことができる。 9. 他の学習者と協力して，最適な解決方法を見いだすことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無し</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・実習書 (配布)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 壺也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------|--|---|
| 2017/09/26 (火) 1時限 09:00～10:30 | ガイダンス | <p>イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 e 家族歴 f 患者背景（生活習慣、喫煙歴、社会歴）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 志子 井田 聡 市川 喜之也 井出 孝 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦 |
| 2017/09/26 (火) 2時限 10:40～12:10 | ガイダンス | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 実習のねらい（学習目標）を説明できる。 2. 「成人学習」について概説できる。 3. TBLについて説明できる。 4. ポートフォリオについて説明できる。 5. 言語的コミュニケーションを説明できる。 6. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 7. 情報を自ら収集、分析し問題点を探すことができる。 8. 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見いだすことができる。 9. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無し</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・実習書（配布）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 e 家族歴 f 患者背景（生活習慣、喫煙歴、社会歴）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-2) 医療面接</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 志子 井田 聡 市川 喜之也 井出 孝 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 2017/09/26 (火) 2時限 10:40~12:10 | ガイダンス | <p>*①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 井出 喜之也 梅田 宜承 大田 将彦 大田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/10/03 (火) 1時限 09:00~10:30 | 問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 2. POS の形式に則った情報を整理できる。 3. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 4. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 5. 現症所見から正常、異常を判断できる。 6. 臨床診断名を決定した理由を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. TBLについて説明できる。 2. 問題志向型医療 (POS) の定義を説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: SGD (スモールグループディスカッション)、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR (問題志向型診療録) 形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 井出 喜之也 梅田 宜承 大田 将彦 大田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/10/03 (火) 2時限 10:40~12:10 | 問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 2. POS の形式に則った情報を整理できる。 3. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 4. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 5. 現症所見から正常、異常を判断できる。 6. 臨床診断名を決定した理由を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. TBLについて説明できる。 2. 問題志向型医療 (POS) の定義を説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: SGD (スモールグループディスカッション) ・実習書 (配布)</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 井出 喜之也 梅田 宜承 大田 将彦 大田 浩三 大山 和次 山尾 好章 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 2017/10/03 (火) 2時限 10:40～12:10 | 問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」 | 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。 | 北本 厚 藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/10/10 (火) 1時限 09:00～10:30 | 問題志向型診療録 (2) 「発表」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 問題志向型医療(POS)の構造を説明できる。 2. 問題点の整理ができる。 3. 臨床診断名の決定ができる。 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: PLS（全体セッション、全体議論、）、ポスターツアー、ケーススタディ、 振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室、302教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜老 井出 喜也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/10/10 (火) 2時限 10:40～12:10 | 問題志向型診療録 (2) 「発表」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 問題志向型医療(POS)の構造を説明できる。 2. 問題点の整理ができる。 3. 臨床診断名の決定ができる。 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: PLS（全体セッション、全体議論、）、ポスターツアー、ケーススタディ、 振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室、302教室 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜老 井出 喜也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|---|
| 2017/10/10 (火) 2時限 10:40~12:10 | 問題志向型診療録 (2) 「発表」 | <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p> | 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 |
| 2017/10/17 (火) 1時限 09:00~10:30 | 問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 2. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 3. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 4. 診断名を決定した根拠を説明できる。 5. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 6. 基本的な患者教育の内容を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. SOAPの記載について説明できる。 2. カルテ記載内容について説明できる。 3. 歯科疾患名と各種治療法の関連を説明できる。 4. 初期治療立案ができる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 亮也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 藤本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真 関 真 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 |
| 2017/10/17 (火) 2時限 10:40~12:10 | 問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 2. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 3. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 4. 診断名を決定した根拠を説明できる。 5. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 6. 基本的な患者教育の内容を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. SOAPの記載について説明できる。 2. カルテ記載内容について説明できる。 3. 歯科疾患名と各種治療法の関連を説明できる。 4. 初期治療立案ができる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 亮也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 藤本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|---|
| 2017/10/17 (火) 2時限 10:40～12:10 | 問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」 | <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p> | <p>須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p> |
| 2017/10/24 (火) 1時限 09:00～10:30 | 問題指向型診療録 (4) 「発表」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 歯科疾患名と各種治療法の関連を説明できる。 2. 初期治療立案ができる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：PLS（全体セッション、全体議論、）、ポスターツアー、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。</p> | <p>伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p> |
| 2017/10/24 (火) 2時限 10:40～12:10 | 問題指向型診療録 (4) 「発表」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 3. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 歯科疾患名と各種治療法の関連を説明できる。 2. 初期治療立案ができる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：PLS（全体セッション、全体議論、）、ポスターツアー、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項</p> | <p>伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 2017/10/24 (火) 2時限 10:40～12:10 | 問題指向型診療録 (4) 「発表」 | 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断 b 治療経過の評価 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑥診療録に得られた情報をPOMR(問題志向型診療記録)形式で記載できる。 ⑧患者に診断結果と治療方針を説明できる。 | 野崎 勝也 堀内 敦 神濱 一 |
| 2017/10/31 (火) 1時限 09:00～10:30 | 医療面接(1) 「医療面接とは? 主訴・現病歴・既往歴の記載演習」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1.患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2.模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3.齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4.症例に基づいたシナリオを作成できる。 5.主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6.クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7.解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8.受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1.医療面接を行う環境を設定できる。 2.医療面接の情報収集に必要な内容を説明できる。 3.患者心理への配慮の必要性を説明できる。 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 f 患者背景 (生活習慣、喫煙歴、社会歴) 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 d 既往歴 g 患者・家族の考え方・希望 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 藤本 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 梶本 肇 須永 広志 石井 聡子 井田 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 本藤 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 敦 神濱 一 |
| 2017/10/31 (火) 2時限 10:40～12:10 | 医療面接(1) 「医療面接とは? 主訴・現病歴・既往歴の記載演習」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1.患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2.模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3.齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4.症例に基づいたシナリオを作成できる。 5.主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6.クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7.解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8.受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1.医療面接を行う環境を設定できる。 2.医療面接の情報収集に必要な内容を説明できる。 3.患者心理への配慮の必要性を説明できる。 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 藤本 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 梶本 肇 須永 広志 石井 聡子 井田 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 本藤 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 敦 神濱 一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2017/10/31 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(1) 「医療面接とは？ 主訴・現病歴・既往歴の記載演習」 | 302教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 f 患者背景（生活習慣、喫煙歴、社会歴） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 d 既往歴 g 患者・家族の考え方・希望 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 | 神濱 敦 |
| 2017/11/07 (火) 1時限 09:00~10:30 | 医療面接(2) 「評価シート・評価マニュアルの作成」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接の流れを説明できる。 3. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 4. 患者中心の歯科医療を説明できる。 5. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 7. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 問診と医療面接の違いを説明できる。 2. 医療面接の評価の概要を説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション） 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 亮 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北藤 厚 佐藤 繁 木 義孝 鈴木 亨 須永 真 関 之勝 野崎 也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/11/07 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(2) 「評価シート・評価マニュアルの作成」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接の流れを説明できる。 3. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 4. 患者中心の歯科医療を説明できる。 5. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 7. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 問診と医療面接の違いを説明できる。 2. 医療面接の評価の概要を説明できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 亮 梅田 宜承 大川 将彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2017/11/07 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(2) 「評価シート・評価マニュアルの作成」 | 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション） 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。 | 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 藤本 繁 鈴木 義孝 鈴木 亨 須永 真 関 之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/11/14 (火) 1時限 09:00~10:30 | 医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)①」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の役割を説明できる。 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. ロールプレイの目的を説明できる。 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 亨也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 藤本 繁 鈴木 義孝 鈴木 亨 須永 真 関 之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/11/14 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)①」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の役割を説明できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2017/11/14 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)①」 | 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. ロールプレイの目的を説明できる。 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: SGD (スモールグループディスカッション)、ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 a 医療情報の収集・提供 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 | 石井 志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 承彦 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/11/21 (火) 1時限 09:00~10:30 | 医療面接(4) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)②」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 2. 齲蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 3. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 4. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 5. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 6. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 7. 受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の質問法を説明できる。 2. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 3. ロールプレイの目的を説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: SGD (スモールグループディスカッション)、ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 f 患者背景 (生活習慣、喫煙歴、社会歴) 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 d 既往歴 g 患者・家族の考え方・希望 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 承彦 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/11/21 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(4) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)②」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 2. 齲蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 3. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 4. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 5. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 6. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2017/11/21 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(4) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)②」 | 7. 受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の質問法を説明できる。 2. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 3. ロールプレイの目的を説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: SGD (スモールグループディスカッション)、ケーススタディ、振り返り・ 実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 f 患者背景 (生活習慣、喫煙歴、社会歴) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴 b 現病歴 d 既往歴 g 患者・家族の考え方・希望 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 | 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 喜也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/11/28 (火) 1時限 09:00~10:30 | 医療面接(5) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)③」 SP参加 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができ る。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の役割を説明できる。 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. ロールプレイの目的を説明できる。 5. 患者心理に配慮できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: SGD (スモールグループディスカッション)、ケーススタディ、振り返り・ 実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケー ション) 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 喜也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/11/28 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接(5) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|---|
| | シナリオの作成 (初診)③ SP参加 | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶齶, 歯髄炎, 歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接の役割を説明できる。 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. ロールプレイの目的を説明できる。 5. 患者心理に配慮できる。 <p>30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: SGD (スモールグループディスカッション)、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 ⑦患者のプライバシーに配慮できる。</p> | 青木 伸一郎 藤原 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 田川 将彦 大多 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦 |
| 2017/12/05 (火) 1時限 09:00~10:30 | 医療面接 (6) 「ビデオ撮影 ロールプレイ演習」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初診患者に対応した医療面接ができる。 2. 医療面接に適した態度ができる。 3. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 4. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 5. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接の役割を説明できる。 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 5. ロールプレイの目的を説明できる。 6. 患者心理に配慮できる。 <p>30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 真之 青木 伸一郎 藤原 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 田川 将彦 大多 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|---|
| 2017/12/05 (火) 1時限 09:00～10:30 | 医療面接 (6) 「ビデオ撮影 ロールプレイ演習」 | <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接</p> <p>①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 梶 肇 須永 志子 石井 聡子 井田 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大田 将彦 大田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/12/05 (火) 2時限 10:40～12:10 | 医療面接 (6) 「ビデオ撮影 ロールプレイ演習」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 初診患者に対応した医療面接ができる。 2. 医療面接に適した態度ができる。 3. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 4. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 5. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の役割を説明できる。 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 5. ロールプレイの目的を説明できる。 6. 患者心理に配慮できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接</p> <p>①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 梶 肇 須永 志子 石井 聡子 井田 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大田 将彦 大田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/12/12 (火) 1時限 09:00～10:30 | 医療面接 (6) 「ビデオ撮影 SP演習」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 初診患者に対応した医療面接ができる。 2. 医療面接に適した態度ができる。 3. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 4. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 5. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の望ましい態度を示すことができる。 2. 医療面接の質問法を示すことができる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 梶 肇 須永 志子 石井 聡子 井田 聡子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|---|
| 2017/12/12 (火) 1時限 09:00～10:30 | 医療面接 (6) 「ビデオ撮影 演習」 SP | <p>3. 非言語的コミュニケーションを示すことができる。 4. 患者心理に配慮できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p> | 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/12/12 (火) 2時限 10:40～12:10 | 医療面接 (6) 「ビデオ撮影 演習」 SP | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 初診患者に対応した医療面接ができる。 2. 医療面接に適した態度ができる。 3. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 4. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 5. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の望ましい態度を示すことができる。 2. 医療面接の質問法を示すことができる。 3. 非言語的コミュニケーションを示すことができる。 4. 患者心理に配慮できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 藤岡 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 山尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2017/12/19 (火) | 医療面接 (8) | 【授業の一般目標】 | 伊藤 孝訓 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|------------------------------|---|--|
| 1時限 09:00～10:30 | 「医療面接のReflection」 | <p>全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接（ロールプレイ）で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接（ロールプレイ）で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接（ロールプレイ）で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接（ロールプレイ）の歯科疾患の臨床推論を分析できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問診と医療面接の違いを説明できる。 2. 医療面接の評価の概要を説明できる。 3. 医療面接スキルを判定できる。 <p>30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>8 医療面接</p> <p>イ 面接のマナー</p> <p>d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>8 医療面接</p> <p>ア 意義、目的</p> <p>a 医療情報の収集・提供</p> <p>b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>イ 面接のマナー</p> <p>b 挨拶、態度</p> <p>c 会話のマナー、言葉遣い</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-7 対人関係能力</p> <p>A-7-1) コミュニケーション</p> <p>*①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】</p> <p>*②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。</p> <p>*③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> | <p>多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 梶本 肇 須永 広志 石井 聡子 井田 喜之也 市川 孝也 井出 宜承 梅田 将彦 大川 浩三 多田 和次 大山 好章 山尾 厚 金尾 繁 北本 繁 佐藤 孝 藤 義 鈴木 亨 須永 真 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦</p> |
| 2017/12/19（火） 2時限 10:40～12:10 | 医療面接（8） 「医療面接のReflection」 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接（ロールプレイ）で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接（ロールプレイ）で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接（ロールプレイ）で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接（ロールプレイ）の歯科疾患の臨床推論を分析できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問診と医療面接の違いを説明できる。 2. 医療面接の評価の概要を説明できる。 3. 医療面接スキルを判定できる。 <p>30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>8 医療面接</p> <p>イ 面接のマナー</p> <p>d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>8 医療面接</p> <p>ア 意義、目的</p> <p>a 医療情報の収集・提供</p> <p>b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>イ 面接のマナー</p> <p>b 挨拶、態度</p> | <p>伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 藤本 康裕 岡本 聖子 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 瀬本 真澄 梶本 肇 須永 広志 石井 聡子 井田 喜之也 市川 孝也 井出 宜承 梅田 将彦 大川 浩三 多田 和次 大山 好章 山尾 厚 金尾 繁 北本 繁 佐藤 孝 藤 義 鈴木 亨 須永 真 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|--|
| 2017/12/19 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接 (8) 「医療面接のReflection」 | c 会話のマナー、言葉遣い 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 本 聖子 大沢 智康 海老原 仁美 村瀬 美澄 瀬本 真澄 永 肇 石井 志子 井田 聡子 市川 喜之也 井出 将彦 梅田 宜承 大田 浩三 多田 和次 大山 好章 山尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 勝也 野崎 一 堀内 敦 神濱 |
| 2018/01/09 (火) 1時限 09:00~10:30 | 医療面接 (9) 「発表」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法をみいだすことができる。 3. チームワーク技術を実施できる。 4. 初診患者に対応した医療面接ができる。 5. 医療面接に適した態度ができる。 6. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 7. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 8. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の役割を説明できる。 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 5. ロールプレイの目的を説明できる。 6. 患者心理に配慮できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: PLS (全体セッション、全体議論、)、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 本 聖子 大沢 智康 海老原 仁美 村瀬 美澄 瀬本 真澄 永 肇 石井 志子 井田 聡子 市川 喜之也 井出 将彦 梅田 宜承 大田 浩三 多田 和次 大山 好章 山尾 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 勝也 野崎 一 堀内 敦 神濱 |
| 2018/01/09 (火) 2時限 10:40~12:10 | 医療面接 (9) 「発表」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 発表のための技術を実施できる。 2. 他の学習者と協力して、最適な解決方法をみいだすことができる。 3. チームワーク技術を実施できる。 4. 初診患者に対応した医療面接ができる。 5. 医療面接に適した態度ができる。 6. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 本 聖子 大沢 智康 海老原 仁美 村瀬 美澄 瀬本 真澄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|---|
| 2018/01/09 (火) 2時限 10:40～12:10 | 医療面接 (9) 「発表」 | <p>7. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 8. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の役割を説明できる。 2. 医療面接の望ましい態度を説明できる。 3. 医療面接の質問法を説明できる。 4. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 5. ロールプレイの目的を説明できる。 6. 患者心理に配慮できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：PLS（全体セッション、全体議論、）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー a 身だしなみ b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p> | <p>須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 山本 章 尾本 好 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦</p> |
| 2018/01/16 (火) 1時限 09:00～10:30 | 医療面接 (10) 「SP演習のフィードバック」 | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接（SP演習）で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接（SP演習）で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接（SP演習）で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接（SP演習）の歯科疾患の臨床推論を分析できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の望ましい態度を示すことができる。 2. 医療面接の質問法を示すことができる。 3. 非言語的コミュニケーションを示すことができる。 4. 患者心理に配慮できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：SGD（スモールグループディスカッション）、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方（質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 b 患者歯科医師関係の確立 イ 面接のマナー b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項</p> | <p>伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴一郎 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 山本 章 尾本 好 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|---|
| 2018/01/16 (火) 1時限 09:00～10:30 | 医療面接 (10) 「SP演習のフィードバック」 | A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 本 聖子 大沢 原 智康 海老原 仁美 村瀬 澄 梶本 真澄 須永 肇 石井 志子 井田 聡 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 川 将彦 大田 浩三 多田 和次 大山 尾好章 山本 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2018/01/16 (火) 2時限 10:40～12:10 | 医療面接 (10) 「SP演習のフィードバック」 | 【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接に適した態度を分析できる。 2. 医療面接 (SP演習) で使用された質問法を分析できる。 3. 医療面接 (SP演習) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 4. 医療面接 (SP演習) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (SP演習) の歯科疾患の臨床推論を分析できる 【準備学修項目と準備学修時間】 1. 医療面接の望ましい態度を示すことができる。 2. 医療面接の質問法を示すことができる。 3. 非言語的コミュニケーションを示すことができる。 4. 患者心理に配慮できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:SGD (スモールグループディスカッション)、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義、目的 a 医療情報の収集・提供 b 患者歯科医師関係の確立 イ 面接のマナー b 挨拶、態度 c 会話のマナー、言葉遣い 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 本 聖子 大沢 原 智康 海老原 仁美 村瀬 澄 梶本 真澄 須永 肇 石井 志子 井田 聡 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 川 将彦 大田 浩三 多田 和次 大山 尾好章 山本 厚 北本 繁 佐藤 義孝 鈴木 亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦 |
| 2018/01/23 (火) 1時限 09:00～10:30 | 平常試験 | 【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 | 伊藤 孝訓 岡本 康裕 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------|--|---|
| 2018/01/23 (火) 1時限 09:00~10:30 | 平常試験 | 302教室 | 伊藤 孝訓 岡本 康裕 |
| 2018/01/23 (火) 2時限 10:40~12:10 | 凝縮ポートフォリオ | <p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題解決手法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 問題解決のプロセスを概説できる。 2. 問題点を分析し解決方法を自ら見いだすことができる。 3. 課題に対して策定した解決について、文章化することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1. 凝縮ポートフォリオの作成の準備 15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：振り返り・これまでの演習で行った振り返り資料、PC</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> | 伊藤 孝訓 多田 充裕 内田 貴之 青木 伸一郎 遠藤 弘康 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 村瀬 仁美 梶本 真澄 須永 肇 石井 広志 井川 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 尾本 好章 北本 厚 佐藤 義繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神 演 敦 |